

まなび

発行 松永地域振興課編集室
住所 福山市松永町三丁目1番29号
電話 084-934-5443
FAX 084-934-8251
メール matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



人の歩みに学ぶ松永教室 講演会

●い草の苗 さしあげます

い草は消臭やリラックスの効果などがあり、飾りやインテリアなど、さまざまな使い方が楽しめます。

いぎょう
広島県蘭業協会事務局長
てらもと やすお

備後地方のい草は
丈夫で美しい
「備後い草」として知られ
畳表の他にも
傘 座布団 お香 薬 etc
暮らしに 重宝する
い草 の話を伺います

お話 寺本 安雄 さん

とき 12月11日(土)
開場13時 開演13時30分~15時

ところ 西部市民センター 5階 多目的室

●オンライン受講 あります

- ・ソフト Microsoft Teams
- ・E-Mail でお申込みください。URL を添付して返信します。

主催：福山市松永地域振興課
定員：会場 30人 / オンライン 250人
問合せ：電話084-934-5443
E-Mail : matsunaga-chiikisinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



西部市民センターまなびサロン【11月】

【パネル展示】

「防災について考える！」

防災意識の普及と啓発を目的に災害写真パネル展示を開催します。ぜひご覧ください。

期間 11月2日(火)~11月14日(日)
場所 西部市民センター 1階エントランス

【福山市総合防災訓練について(お知らせ)】

福山市では、南海トラフ地震など大規模災害の発生に備えて、総合防災訓練を実施してきましたが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市と地域合同では中止とします。

なお、各学区(地区)が独自に実施する自主防災訓練については、中止を求めるものではありませんので、感染症対策にご留意いただく中で実施してください。

【問合せ】松永地域振興課 (電話 084-934-5443)



部落問題ってなに？

第1回 12月1日(水)19:00~20:30

「なぜ部落差別はあるのか？」

やました ますみ

講師 **山下 真澄**さん

(部落解放同盟福山市協議会 議長)

内容

部落の歴史や差別の構造、これまでの部落差別解消に向けた取組などについて学び、なぜ今も部落差別があるのか、差別をなくすためにどのように行動すべきか考えます。

第2回 12月8日(水)19:00~20:30

「人権と部落差別 — 市民意識調査と理論的課題」

あおき ひでお

講師 **青木 秀男**さん

(広島部落解放研究所連絡会副理事長/NPO社会理論・動態研究所理事長・所長)

内容

「人権尊重のまちづくり」を推進する目的で、2018年12月に福山市で実施した「市民意識調査」の結果を考察し、人権と部落差別をめぐる状況について考えます。

第3回 12月15日(水)19:00~20:30

「同和教育がめざしてきたもの」

いのうえ きよふみ

講師 **井上 聖文**さん

(元福山市同和教育研究協議会事務局長)

内容

若い世代で、「部落差別などの同和問題を知らない」という割合が増えています。かつての同和教育・人権教育の取組を振り返り、今後の学習や啓発のあり方について考えます。

場所 **福山市瀬戸コミュニティセンター** (福山市瀬戸町大字地頭分80番地1)

●新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●当日、会場ではマスクの着用、手指消毒、検温等へのご協力をお願いします。

■定員 30人 ■要約筆記、手話通訳などが必要な場合は事前にお知らせください。

■受講料 無料

■駐車場 有 ■主催 福山市(人権・生涯学習課)

■問合せ・申込み先 人権・生涯学習課 ※事前申し込みが必要です。

電話 084-928-1243 FAX 084-928-1229

E-mail jinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



申込フォーム URLはこちら



ふくやま人権大学 HPはこちら

ふくやま・まちづくり大学 2021 公開講座

デジタル化・コロナ禍の中で、 子どもの育ち・学びをどう考える

日本の教育はデジタル化・コロナ禍の中で、激動の時期を迎えています。

教育界も揺れる中で、地域や家庭でできることが将来を切り拓くのに役に立つはず。悩みながら、子どもと共に親や地域も育っていく、そんな「共育」のありかたを、未来を創る大きな展望を見据えてお話ししていただきます。

日時 11月23日(火) 14時~15時30分

場所 西部市民センター5階 多目的室

講師 福山市立大学教育学部教授
弘田 陽介さん





情報びっくり箱

講座に参加する時は
マスクを着用してください



松永図書館(933-3770)

<11月の行事予定>

☆展示「めざせJリーグ! 福山シティFCを応援!!」

- 期間 11月17日(水)~12月20日(月)
- ところ 松永図書館 展示コーナー
- 内容 福山・備後エリアを中心に活動する社会人サッカーチームである福山シティFCのグッズを展示します。併せて、「夢を仕事にする」と題し、仕事をテーマにした本の展示・貸出を行います。



<定例行事>

☆あかちゃんといっしょのおはなし会

- とき 11月10日(水)及び11日(木) 11時から11時15分
- 内容 乳幼児とその保護者を対象にしたおはなし会です。

※行事は、新型コロナウイルス感染症拡大状況により、人数制限または中止になる場合があります。

<<図書館のお休み>>

11月16日(火) 館内整理日



高西公民館(934-3172)

☆まちづくりふれあい講座 フレイル講座『ロコモ予防体操』

- とき 11月10日(水)10時~11時30分
- ところ 高西公民館
- 内容 「なぜフレイル予防が大切なのか」のお話と、ロコモティブシンドローム予防の体操を行います。

- 対象者 成人一般
- 講師 松永保健福祉課 保健師
- 定員 10人
- 申込み 必要
- 持参物 飲み物、動きやすい服装
- 申込み・問合せ 高西公民館へ



☆まちづくりふれあい講座

クリスマスに向けたアドベントカレンダーづくり

- とき 12月4日(土)10時~11時30分
- ところ 高西公民館
- 内容 アドベントカレンダー(クリスマスまでのカウントダウンができるカレンダー)を作ります。

- 対象者 どなたでも
- 講師 河本 亜由未 (高西公民館主事)

- 定員 10人
- 材料費 100円
- 申込み 必要
- 持参物 カレンダーにしたい素材(シールやリボンなど)
- 申込み・問合せ 高西公民館へ



神村コミュニティセンター(934-3445)

☆人権啓発講座『理解しよう発達障がい』
発達障がい児・者のバリアフリーとは?
壁を低くするためにできること

- とき 11月24日(水)18時30分~20時
- ところ 西部市民センター 5階多目的室
- 内容 発達障がいについて正しい知識をもち、理解を深めていくことで、自分や家族を含め、私たち一人ひとりのことを理解することにつなげていくために行います。
- 対象者 市民全般
- 講師 永井 智樹 さん(基幹相談支援センター クローバー)
- 定員 50人
- 申込み 必要
- その他 託児あり(申込み必要)
- 申込み・問合せ 神村コミュニティセンターへ



藤江公民館(935-7401)

☆社会教育活動事業

~自分の身体を自分で整える~ 背骨コンディショニング

- とき 11月11日(木)14時~15時30分
- ところ 藤江公民館 2階大会議室
- 内容 講義と実技
- 対象者 成人一般
- 講師 郷原 遥 さん(背骨コンディショニング協会)
- 定員 8人
- 申込み 必要【11月9日(火)まで】
- 持参物 飲み物、ヨガマット(無い場合はバスタオル2枚)
- その他 動きやすい服装、歩きやすい靴でご参加ください。
- 申込み・問合せ 藤江公民館へ



☆社会教育活動事業

地域の魅力再発見(史跡めぐり)

- とき 11月23日(火)9時~12時
- ところ 藤江公民館(集合)1~4番組(コース)
- 内容 講義と実技
- 対象者 成人一般
- 講師 杉原 榮 さん(前藤江公民館館長)
- 定員 なし
- 申込み 必要【11月21日(月)まで】
- 持参物 飲み物
- その他 動きやすい服装、歩きやすい靴でご参加ください。
- 申込み・問合せ 藤江公民館へ



☆社会教育活動事業

「親の力」を学びあう学習プログラム 指示より支持してみよう

- とき 11月25日(木)10時~11時
- ところ 藤江公民館 1階和室
- 内容 講義と実技
- 対象者 未就学児とその保護者
- 講師 ファシリテーター
- 定員 10人
- その他 講座終了後、おもちゃサロンがあります。
- 申込み・問合せ 藤江公民館へ



SDGsの 持続可能な 活動紹介

「SDGs」(エス ディージェズ)は、「Sustainable Development Goals」の頭文字で、「持続可能な開発のための目標」という意味です。国際連合が、全ての人々が幸福に暮らし続けるために提唱したもので、17の目標と169の具体的な行動の項目を定めています。「まなび」では持続可能な活動を紹介し、関連する記事に17の目標のアイコンとロゴを掲載しています。

その4 古本を誰かの学びに活かす リユースのプロジェクト



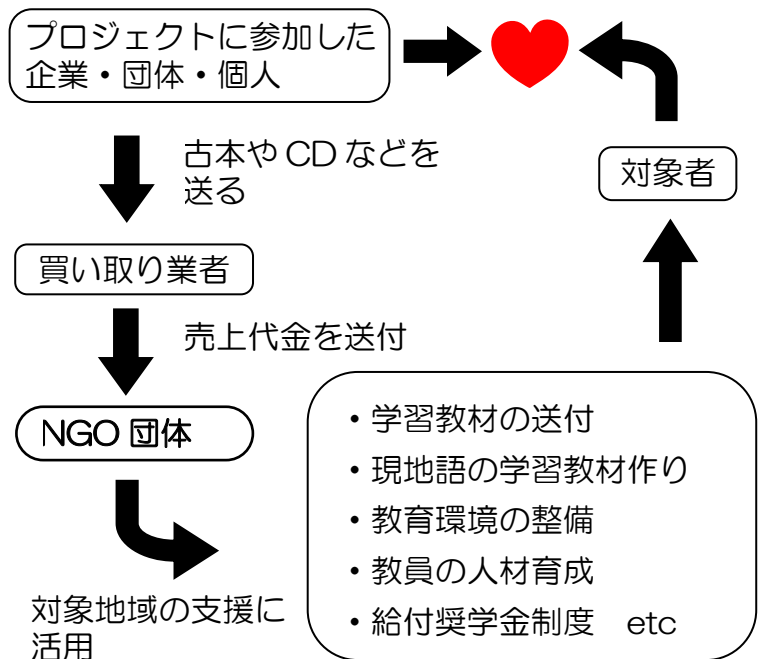
この記事は SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」に関係しています。

教育は、貧困や健康、ジェンダーや人の平等など、SDGsが取り上げている多くの目標と密接に関係しています。学校に通えない子どもは世界に2億6,500万人いると言われます。(2018年時点)これを改善しようと、NGOなどの団体が資金や物品の寄付を呼びかけています。

本をリユースするプロジェクトでは、寄付を受けた古本やCDなどの売上を資金に、発展途上国などの教育環境の改善に取り組んでいます。

また、ランドセルや文房具など寄付を受けた物品を対象地域に送る取組もあります。

古本をリユースするプロジェクトのイメージ



ゲタなび

ホームページでカラーを ⇒

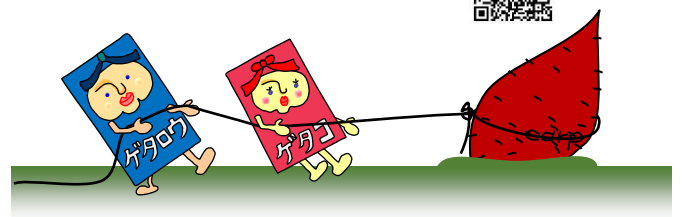
10 人や国の不平等をなくそう

SDGs

10 人や国の不平等をなくそう

東京五輪・パラリンピックを新聞記事で振り返ると、華やかさの陰にある多くの社会問題が読み解けます。例えば、意見を主張する表現を禁止していましたが、人種差別に反対する声の高まりにより、規則が緩和されました。また、性的マイノリティーについて、カミングアウトした選手が最も多い大会になり、性別を変更した選手の参加が話題になりました。母国を離れて暮らす、難民選手団の活躍に惜しめない拍手が送られました。

一方で、女性選手に対し指導者などが強い立場



を悪用した性被害や、体の一部を強調した写真撮影の問題が指摘されました。また、インターネットを悪用し、選手を誹謗中傷する書き込みが後を絶ちませんでした。そして、開会前のさまざまな出来事に関し、開催国の人権感覚について世界中からさまざまな指摘がありました。などなど…。

私たちは、この大会を通じ多くの学びを得ることができます。大会を終えたこれから、何を大切にしなければいけないかが問われています。